

赤潮予報 H30-8 号

平成31年1月24日
水産試験場漁場環境研究部

1 伊勢湾（調査日：1月21日）

（1）現況

赤潮は確認されませんでした。前回と比べて測点 R15 でプランクトンが増加し、表層のクロロフィル a の平均は 10.5 μg/L で、平年（過去5年平均、以下同様）を上回りました。

表層の平均水温は 11.6℃で、平年を 1.5℃上回りました。

表層の栄養塩類の平均は前回と比べて窒素は横ばい、リンは低下し、窒素、リンともに平年並でした。

（2）予測（予測期間：1月下旬～2月上旬）

〔赤 潮〕 赤潮が発生する可能性は低いでしょう。

〔栄養塩〕 横ばいからやや減少するでしょう。

現在、空港島の東側から R15 にかけてプランクトンがやや多い状況となっていますが、栄養塩が少なくなってきたことから、赤潮に至る可能性は低いと考えられます。気象庁によれば、予測期間中の降水量は平年並みか少ないとされており、プランクトンがやや多いことから、栄養塩は横ばいからやや減少するでしょう。

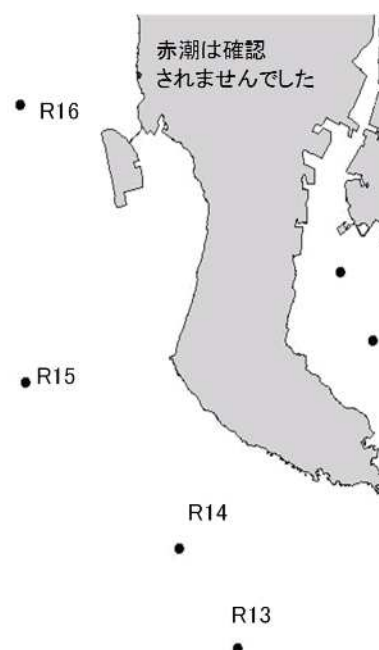


図1 調査点及び赤潮発生海域

表1 平成31年1月21日赤潮調査結果（伊勢湾）

	採水層	水温	塩分	アンモニア	亜硝酸	硝酸	三態窒素	リン酸態リン	クロロフィルa	
		℃		μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	
伊勢湾	R13	0m	12.7	33.5	19.8	12.0	37.4	69.1	7.6	5.5
		5m	12.6	33.6	14.9	12.1	36.9	63.9	7.8	5.6
		底層	11.9	33.4	20.8	13.5	37.4	71.7	7.3	6.9
	R14	0m	11.8	33.3	17.2	15.4	36.6	69.2	7.3	7.5
		底層	11.5	33.3	12.7	16.0	40.3	68.9	7.9	7.5
	R15	0m	11.1	32.6	21.4	12.5	15.7	49.5	3.2	15.9
		底層	11.3	33.1	20.9	19.8	48.9	89.6	10.5	8.4
	R16	0m	10.9	31.6	48.8	22.8	77.5	149.1	8.3	13.3
		底層	11.5	33.1	28.9	21.4	54.2	104.5	12.9	4.8
	平均		11.6	32.7	26.8	15.7	41.8	84.2	6.6	10.5
	(平年値)	0m	(10.1)	(32.1)	(21.5)	(8.1)	(61.6)	(91.3)	(8.2)	(7.8)
	(前回)		(12.3)	(32.4)	(16.7)	(34.1)	(61.7)	(112.5)	(13.0)	(1.1)

2 知多湾・渥美湾（調査日：1月21、23日）

（1）現況

三河湾全域でスケルトネマによる赤潮が確認されました。表層のクロロフィル *a* の平均は知多湾 12.9 μ g/L、渥美湾 22.7 μ g/L で、知多湾は平年並み、渥美湾は平年を上回りました。

表層の平均水温は知多湾 10.2℃、渥美湾 7.5℃で、平年よりも知多湾は 0.9℃、渥美湾は 0.5℃高くなりました。

表層の栄養塩類の平均は、前回と比べて知多湾では窒素、リンともに減少し、渥美湾では窒素は横ばいでリンは減少しました。知多湾は窒素、リンともに平年を上回り、渥美湾は窒素、リンともに平年並でした。

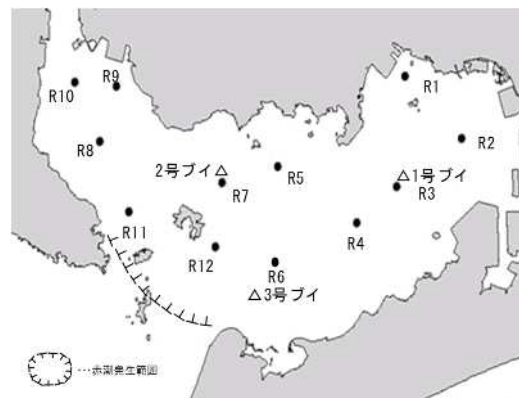


図2 調査点及び赤潮発生海域

（2）予測（予測期間：1月下旬～2月上旬）

〔赤潮〕赤潮が継続するでしょう。

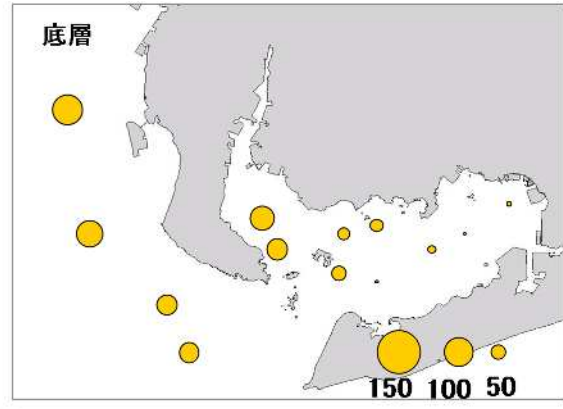
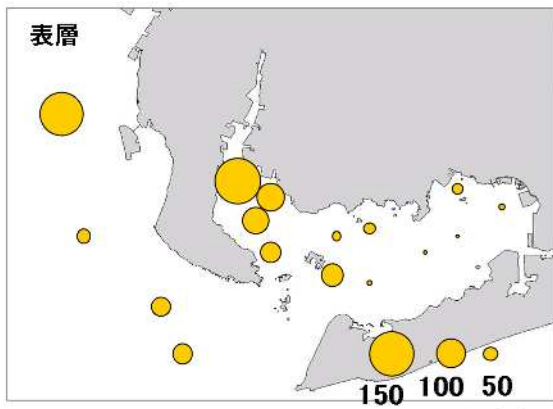
〔栄養塩〕知多湾では減少し、渥美湾では低い水準で横ばいでしょう。

現在、三河湾全体でスケルトネマが非常に多い状況となっており、知多湾では栄養塩も充分にあることから、この赤潮はしばらく継続すると考えられます。渥美湾では栄養塩がすでに低い水準となっていますが、しばらく継続すると考えられます。これにともない、栄養塩は知多湾では減少し、渥美湾では低い水準で横ばいでしょう。

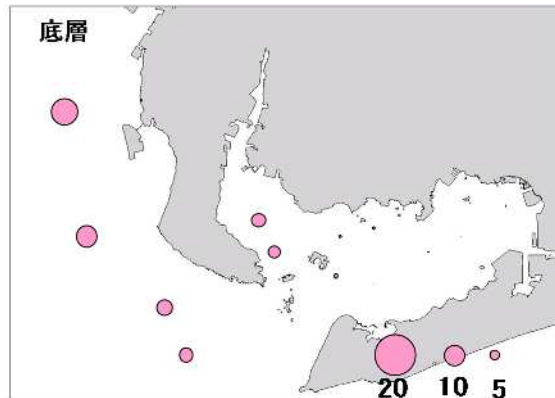
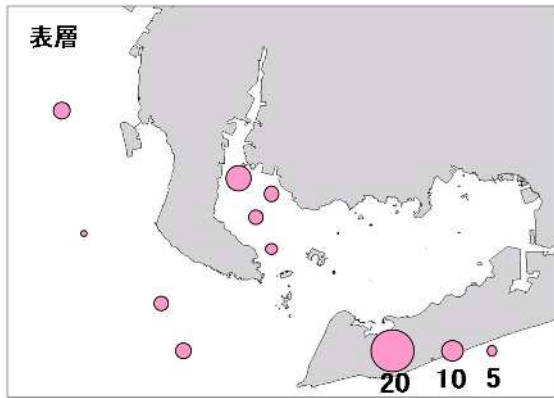
表2 平成31年1月21、23日赤潮調査結果（知多湾・渥美湾）

		採水層	水温 °C	塩分	アンモニア μg/L	亜硝酸 μg/L	硝酸 μg/L	三態窒素 μg/L	リン酸態リン μg/L	クロロフィルa μg/L
知多湾	R8	0m	10.2	32.7	14.7	12.8	64.4	91.9	7.4	14.5
		5m	10.2	32.7	14.8	9.9	60.6	85.4	7.0	14.2
		底層	10.4	32.8	20.2	10.6	52.3	83.1	7.2	12.1
	R9	0m	10.1	32.7	18.9	11.6	64.6	95.2	7.4	14.7
	R10	0m	10.3	32.5	29.6	20.6	103.7	153.9	12.3	10.2
	R11	0m	10.3	32.9	21.5	10.4	40.8	72.7	5.8	12.1
底層		10.2	32.9	23.2	9.2	41.9	74.3	6.1	11.3	
平均 (平年値) (前回)	0m	10.2 (9.3) (11.2)	32.7 (31.9) (32.2)	21.2 (16.4) (24.9)	13.8 (5.8) (30.8)	68.4 (43.8) (91.9)	103.4 (66.0) (147.6)	8.2 (4.3) (16.7)	12.9 (13.2) (1.6)	
渥美湾	R1	0m	7.1	31.4	13.0	5.2	22.0	40.1	0.5	19.4
		底層	6.7	31.1	8.9	4.2	11.1	24.2	0.3	31.9
	R2	0m	6.6	31.3	9.5	4.1	3.6	17.3	0.3	29.1
		5m	6.6	31.0	9.2	2.7	2.8	14.7	0.5	29.5
		底層	6.7	31.1	17.0	2.8	6.4	26.3	0.4	29.2
	R3	0m	6.7	31.1	8.8	1.5	1.9	12.2	0.4	29.3
		底層	6.7	31.1	8.8	1.5	1.9	12.2	0.4	29.3
	R4	0m	7.0	31.4	12.8	1.7	2.2	16.7	0.4	20.0
		底層	7.4	31.7	20.0	2.6	7.4	29.9	0.4	18.5
	R5	0m	7.7	31.9	13.2	5.9	24.2	43.4	1.3	14.9
		底層	7.7	31.9	15.0	5.7	24.3	44.9	1.5	14.2
	R6	0m	8.0	32.0	7.4	2.8	10.1	20.3	0.5	19.2
		底層	8.1	32.1	6.8	1.8	3.9	12.5	0.5	24.1
	R7	0m	8.4	32.1	15.7	3.4	13.4	32.5	1.1	23.3
		5m	8.4	32.1	17.3	2.6	14.5	34.4	1.2	25.0
底層		9.6	32.7	12.5	2.7	27.2	42.4	2.0	22.1	
R12	0m	8.6	32.2	27.3	8.5	43.6	79.4	1.7	23.1	
	5m	8.6	32.2	13.9	1.9	15.6	31.4	1.2	23.3	
	底層	8.9	32.4	18.1	3.2	31.1	52.5	2.5	19.2	
平均 (平年値) (前回)	0m	7.5 (7.0) (8.0)	31.6 (31.0) (31.5)	13.4 (12.9) (14.2)	4.3 (4.6) (9.6)	16.2 (23.4) (23.6)	33.9 (40.9) (47.4)	0.8 (1.2) (5.5)	22.7 (17.9) (7.0)	

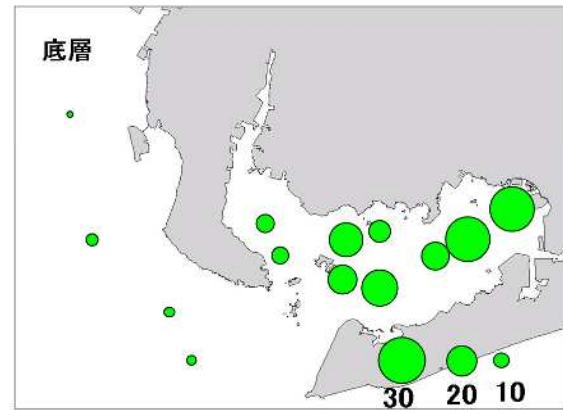
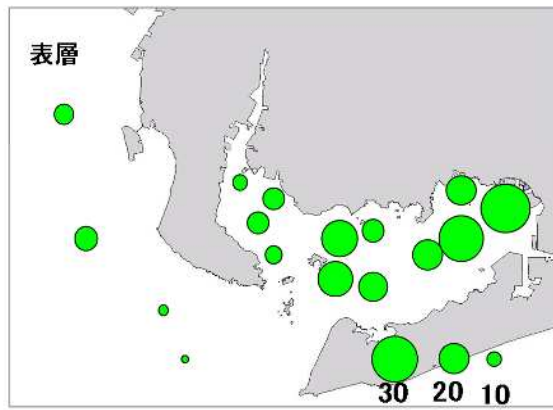
・クロロフィルとは植物プランクトンの色素のことで、相対的なプランクトン量が分かります



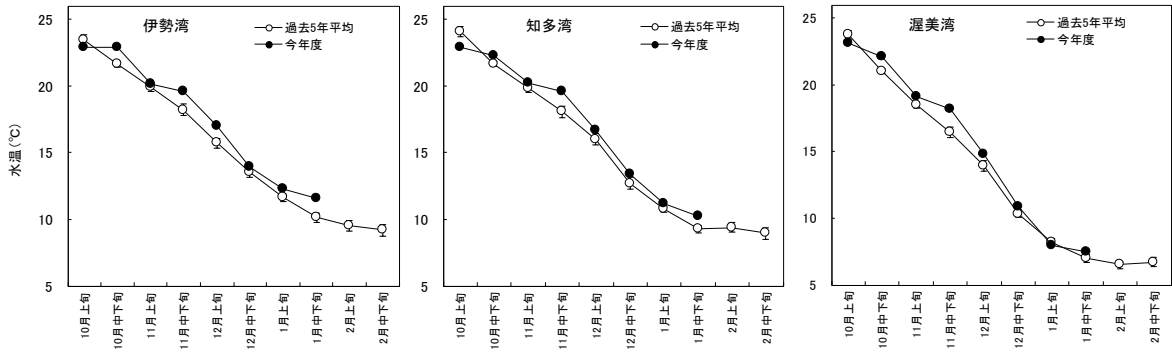
三態窒素の分析結果(µg/L)



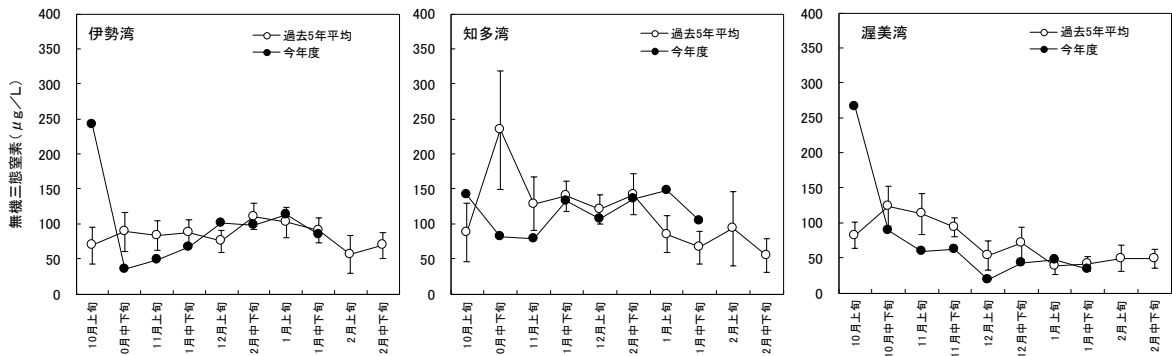
リン酸態リンの分析結果(µg/L)



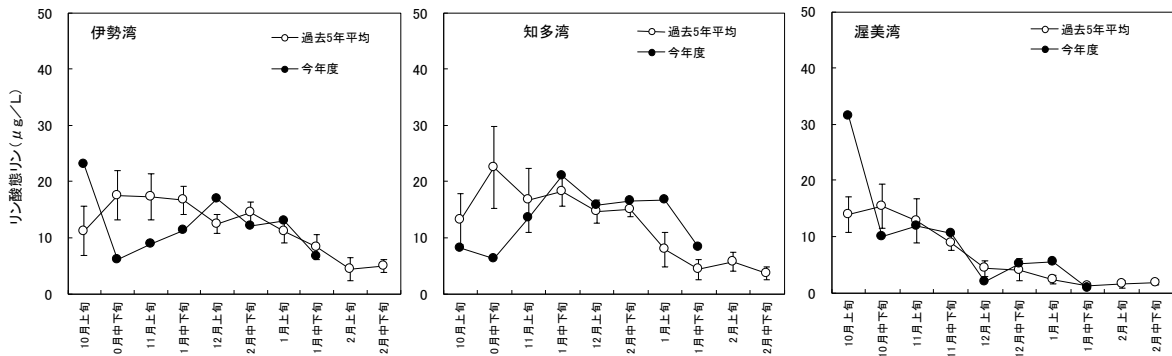
クロロフィルaの分析結果(µg/L)



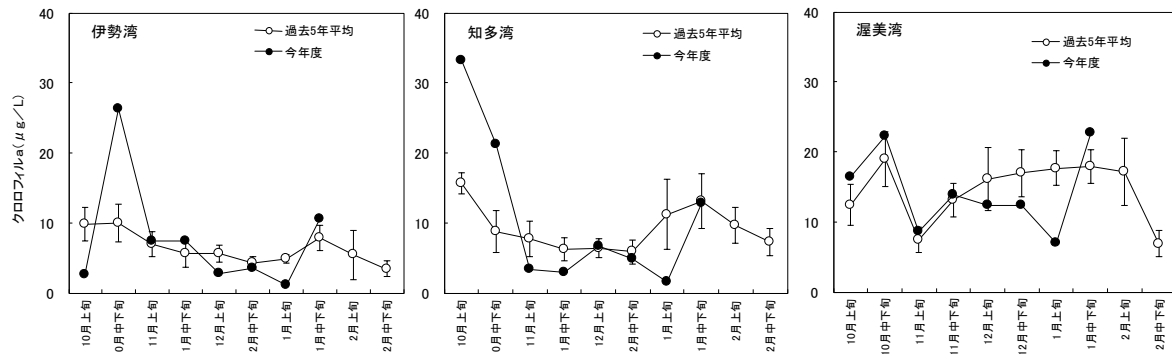
各湾表層の平均水温の推移



各湾表層の三態窒素の推移



各湾表層のリン酸態リンの推移



各湾表層のクロロフィルaの推移

注)各图中的の過去5年平均値のバーは、95%信頼区間を示します。